

Title	条件接続形式による評価的複合表現 : スルトイイ, スレバイイ, シタライイ
Author(s)	高梨, 信乃
Citation	阪大日本語研究. 1995, 7, p. 39-54
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/8108
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

条件接続形式による評価的複合表現

—スルトイイ、スレバイイ、シタライイ—

Compound Forms with Conditional Connectives

高 梨 信 乃

TAKANASHI Shino

キーワード：条件接続形式，評価的複合表現，事態の制御可能性，当為判断，願望

1 はじめに

いわゆる条件接続形式を用いた表現の中には、後件に「いい、だめだ、いけない」など、前件を直接評価する語がくるものがある。

- (1) 「今の会社が嫌になったら、とらば一ゆで次の就職先を探せばいいわ」
(クロワッサン症候群)
- (2) 「ちょっと試食させてもらってもいいですか」 (妊娠カレンダー)
- (3) ばあや「アンドレ！ いいね、だれにも、オスカルさまにもだんなさまにもいってはだめだよ」
(ベルサイユのばら)
- (4) 「男の子をつくるためには、妻はアルカリでも、夫は酸性食品をとらなければいけないんですって」
(素直な戦士たち)

このような文は、前件と後件をもつ複文とは意識されないのが普通であろう。スレバイイ、シテモイイ、シテハダメダ、シナケレバイケナイなどは表現としての固定化の度合いからいっても、また、使用頻度の高さからいっても、複合文末表現として扱うほうが、文法記述の上で効率的である。従来の研究でも、そのような扱いが普通であった。

しかしながら、各形式の意味・用法については、日本語教育などのためにも必要であると思われるのに、網羅的で詳細な記述がなされているとはいいがたい。また、複合的な表現である以上、これらはその構成要素である条件接続形

式の性格を引き継いでいる点があるはずだが、そうした観点に踏み込んだ研究もあまりなされていないようである。

本稿では、条件接続形式から形成される評価的複合表現のうち、スルトイイ、スレバイイ、シタライイの三形式を採り上げる。

第一の目的は、意味・用法を整理・記述することである。これら三形式は、言うまでもなく、当該事態を肯定的に評価する表現である。が、個々の運用において文が担うことになる意味は一様ではない。

森田・松木(1989)、高橋他(1994)などの先行研究も、意味を幾つかに分類して記述している。しかし、それぞれの意味がどのような条件のもとで生じるのかという考察がなされていない点、形式自体がもつ本来的な意味と派生的な意味との区別がなされていない点で、不十分であると思われる。

先行研究の問題点のもう一つは、三つの形式の異同についての言及がごくわずかしか見当たらない点である。三つの形式の機能には重なる部分と異なる部分とがある。そうした重なりと異なりは、構成要素であるト、バ、タラの性格に端を発するものであろう。本稿では、条件接続形式としてのト、バ、タラの性格が複合表現にどのように投影されているかにも注意を払いたい。

2 スルトイイ、スレバイイ、シタライイの意味と事態の制御可能性

スルトイイ、スレバイイ、シタライイの意味を観察していくにあたって、先ず大まかな区分けをしておきたい。

これら三形式の意味を決定する第一のファクターは、「いい」という肯定評価の対象となる当該事態が制御可能かどうか、すなわち意志的に実現できるものかどうかという点である。

(5) 料理が上手になりたければ、いい包丁を{もつといい/もてばいい/
もつたらいい}。

(6) 明日雨が{降るといい/降るばいい/降るたらいい}なあ。

(5)の「いい包丁をもつ」は、行為者が聞き手であれ、不特定であれ、実現が制御可能な事態として捉えられている。そのためその事態を「いい」と肯定的に評価することにより、文は「何なにすべきだ」に近い、一種の当為判断を担

うことになる。一方、(6)の「明日雨が降る」という事態は制御不可能な事態として捉えられているため、当該事態の実現を願う願望の文にしかならない。¹⁾まとめると下のようになるだろう。

(7) スルトイイ、スレバイイ、シタライイの意味

当該事態が制御可能なものとして捉えられている場合

→<当為判断>を表す

当該事態が制御不可能なものとして捉えられている場合

→<願望>を表す

以下では、(7)の区別を出発点として考察を進めていくことにする。

さて、ここで先行研究の中で唯一三つの形式の異同について触れている国研(1964)をみておきたい。そこで提出されている観察は次のようなものである。

(8) 国研(1964)

①シタライイはほとんど完全にスレバイイに置き換えられる。

②スルトイイとスレバイイには多少の差があり、スルトイイが「やや積極的に聞き手にある行動を勧める」のに対し、スレバイイは「時に、～すればそれですむ、といった消極的なニュアンスを帯びる」

③願望を表す場合は、スルトイイとスレバイイに違いはみられない。

(8)の観察が仮に正しいとすれば、使い分けが問題になるのは、スルトイイ対スレバイイ・シタライイであり、しかも<願望>を表す場合以外、すなわち<当為判断>を表す場合であるということになる。そこで、手順として、まずは考察の対象をスルトイイとスレバイイにしぼり、<当為判断>を表す場合からみていくことにしよう。

3 <当為判断>を表すスルトイイとスレバイイ

3.1 <当為判断>と<勧め>

まず、<当為判断>を表す例をあげる。

(9) 「…まあ、落ち着き先がはっきりするまで、うちに泊まればいいわ。

いつでも好きな時に上京してきて」 (妊娠カレンダー)

(10) 「いいですね、男の方は。私にはとても出来ないわ」

「やればいい。たかがテレビじゃない、そんなにムキになることないよ」
 (向田邦子全対談)

(11) かぜをひいたときは、あたたかいものを飲んで、早目に寝るといい
 でしょう。
 (筑波大(1983))

(12) (そうだわ。待っていればいいんだわ、エレベーターの前で)
 (広き迷路)

本稿でいう<当為判断>とは、ある制御可能な事態を実現させることを望ましいとか必要だとする判断のことである。スルベキダ、スルモノダ、シナケレバナラナイなどが、<当為判断>を表す形式として代表的なものであろう。

<当為判断>の文は、一般に、一定の条件が揃えば聞き手に行為を促す文として機能する。スルトイイ、スレバイイの文も例外ではなく、<勧め>の文として機能する場合がある。ただし、<勧め>の意味の生成過程には、二通りの場合が考えられるだろう。(9)(10)は、聞き手が行為者となる事態を望ましいと述べることにより、<勧め>の意味が生じている。一方、(11)は一般的な事態の当否を述べているため、それ自体は<当為判断>を表明する文に過ぎない。しかし、文脈によってはその限りではなく、例えば現に風邪を引いている聞き手に対して発せられれば、<勧め>の文として解釈されるのが普通だろう。²²

いずれにしても、<勧め>は<当為判断>から生じる派生的な意味と考えられる。(12)のように行為者が話し手である場合は、当然、<勧め>の意味は派生されない。

3.2 国研(1964)の指摘と問題点

さて、ここでスルトイイとスレバイイの違いに注目してみよう。(9)や(10)では、両形式とも可能である。

(9) うちに(泊まるといい／泊まればいい)わ。

(10) やりたければ、(やるといい／やればいい)。

国研(1964)は、(8)でみたように、スルトイイ=積極的、スレバイイ=消極的というニュアンスの違いを指摘している。(9)(10)でも、そのような違いは確かに感じられるだろう。意志や依頼などの文に強い積極性を加える副詞「ぜひ」の

共起を許すかどうかにも、違いが表れている。

(9)' ぜひ、うちに {泊まるといい / ? 泊まればいい}。

(10)' やりたければ、ぜひ、 {やるといい / ? やればいい}。

しかし、ニュアンスの違いというだけでは、不十分であろう。(11)では、スレバイイはやや不自然であるし、他にも互いに置き換えがきかない場合が多数存在するからである。

(11)' ?かぜをひいたときは、あたたかいものを飲んで、早目に寝ればいいでしょう。

(13)「このお玉串料、どう {すればいい / ??するといい} の」
「前にお賽銭箱があるでしょう。あのなかに {入れればいい / ??入れ
るといい} のよ」 (紫色の場所)

(14)「おかしな奴だな。そんなに近くにいるなら、ここに {来ればいい /
??来るといい} じゃないか」 (満ちたりぬ月)

これらの例は、スルトイイとスレバイイの間に、根本的な意味の差異があることを示している。

以下では、スルトイイとスレバイイのいずれかしか使えない場合を整理していくことにより、両者の違いを探っていくことにする。

3.3 スルトイイ・スレバイイの本質

3.3.1

次のような疑問語を伴う疑問文では、スレバイイしか使えない。

(15) 藤堂「いい加減にしてくださいよ。何度話せばいいんです？」
(われに撃つ用意あり)

(15)' * 何度話すといいんです？

(16)「じゃ、とりあえず、俺はどこへ行けばいい？」 (祇園祭殺人事件)

(16)' ??俺はどこへ行くといい？

(17)「どんな服を来て行けばいいのか、全然分らないわ」
(妊娠カレンダー)

(17)' ??どんな服を来て行くといいのか、全然分らないわ。

このように疑問語疑問文で使われると、スレバイイの文は、よい結果を得るための要件としてどんな事態が実現すべきかを問い掛けたり、自問したりする表現になる。こうした文が可能なのはスレバイイの本質に関わる特徴であろう。すなわち、得るべきよい結果が文脈中に存在しているということである。

次のような例でスレバイイが選択されるのも同じ原理である。

(18) 太りたくなかったら、食わなければいい。 (高橋他1994)

(18)' *太りたくなかったら、食わないといい。

(19) おかずを作るのに飽きたのなら、おかずの店を作ればいいのである。

(「ままや」繁盛記)

(19)' ??おかずを作るのに飽きたのなら、おかずの店を作るといいのである。

(20) 「家賃のほかに、管理費を二万円もとられるんですよ」

「まあ、女の子なんだからね。しっかり監督してもらうための安心料と思えばいいさ」 (女子大生が消えた)

(20)' ??しっかり監督してもらうための安心料と思うといいさ。

いずれの例でも得るべき結果を文脈の中に見いだすことができる。

(18)"「太りたくない」という目的を達成する(という結果)

(19)"「おかずを作るのに飽きた」という問題を解決する(という結果)

(20)"「高い料金を払わされることに対する不満」という問題を解決する(という結果)

得るべき結果は、(18)(19)では条件節において、(20)では先行する発話において設定されている。いずれにしても、望んでいる結果がまずあり、それを得るための必要十分な手立てとして、「食わない」「おかずの店を作る」「しっかり監督してもらうための安心料と思う」という事態を提出している点が重要である。

以上の観察からスレバイイの本質は次のようなものと考えられる。

(21) スレバイイの本質

特定のよい結果を得るための手立てとして、当該事態が必要十分であることを述べる。

3.3.2

一方、次のような例では、スルトイイでなければ不自然である。

(22) (博多のバーのママが観光客に向かって)

「長浜へ行ったら、絶対に替え玉っていうのをやるといいわよ」

(美食倶楽部)

(22)' *絶対に替え玉っていうのをやればいいわよ

(23) 「お宅の奥さんは、浮気をしていますよ。相手は、桑田和彦という

人です。今日、桑田という人の家へ、3時頃いってみるといいで

すよ」

(長い髪の女)

(23)' ??3時頃いってみればいいですよ

(24) (西瓜を買ってきた息子に向かって父が)

「すぐ冷蔵庫に入れとくといいな」

(異人たちとの夏)

(24)' ??すぐ冷蔵庫に入れとけばいいな

いずれの場合も、上でみた(18)~(20)のように特定の望ましい結果を文脈の中に読み取ることにはできない。当該事態を特定の結果を得るための手立てとして提出するのではなく、単に望ましいものとして肯定評価しているといえる。

(25) スルトイイの本質

当該事態を望ましいものとして肯定的に評価する。

(25)のような本質から、スルトイイは、(11)のような特定の文脈や場面に縛られない一般的な<勧め>として用いられることが多い。料理のテキストなどのいわゆるハウツーものに頻繁に用例が現れるのも、ハウツーものが不特定多数の読み手に対する一般的な<勧め>を集めた文章であるからだろう。

(26) (ピーマンの天ぶらのコツ)

しいたけと同様に天ぶらのカラーアクセントになるので、衣は半がけにするとよい。

(天ぶら読本)

(27) (ストレートを生かすアレンジのコツ)

ストレートヘアはねじってバレッタで留めたりしながら、毛先のストレート部分をいかしてゆくとよいでしょう。

(ロングヘアの本)

3.3.3

さて、このようなスルトイとスレバイイの間の本質的な差異は、どこからくるものだろうか。条件接続形式としてのトとバの性格の違いから考えてみたい。

条件文には、後件を成立させるためにはどんな前件が必要かを述べるものがあるが、このような前件に焦点のある条件文には、バは用いることができ、トは用いることができない。

(28) どこへ行けば、おいしいマンゴープリンが食べられますか。

—香港へ行けば、食べられます。

(28)'??どこへ行くと、おいしいマンゴープリンが食べられますか。

—??香港へ行くと、食べられます。

この違いは、次の二例を比べることによっても、明らかである。

(29) この本を読むとパソコンに強くなる。

(29)' この本を読めばパソコンに強くなる。

(29)は一般的、法則的な事柄として、前件が後件を引き起こすことを述べる文である。一方、(29)'が最も普通に用いられるのは、どうすればパソコンに強くなるか、すなわち後件を実現させるためにはどんな前件が必要かを問われているような文脈であろう。両者の違いは、事態を単純に肯定評価するスルトイと、結果志向のスレバイイの違いにそのまま対応するといっていると思われる。

3.3.4

もちろん、すでにみたようにスルトイ、スレバイイともに使える場合もある。ただし、(21)と(25)でまとめた本質の違いからニュアンスの差が生じる。

(30) ルイ16世「ほほう、一面すっかりこおってしまったようだな。ち
 ょうどよかった。パリから失業している男たちを集めて
 氷かきを（やらせてやるといい／やらせてやればいい）。
 賃金をたっぷりはずんでやってな」（ベルサイユのばら）

(31) 「当面どうしたらいいかしら。給料日は明後日よ」

「小鷹利に（相談するといい／相談すればいい）」

（仮縫）

スルトイイを用いた文では、「パリの失業している男たちに氷かきをやらせる」「小鷹利に相談する」という行為は単純に望ましいこととして勧められており、その場面でとりうる行為の一つとして示されているに過ぎない。一方、スレバイイに置き換えると、それらの行為は「一面すっかりこおってしまった」「明後日が給料日だ」という問題を解決するための必要十分な手段として提出されることになる。

このように望ましい結果を得るための必要十分な手立てとしてPを提出することは、～Pを不必要なものとして排除することにつながる。³⁾この「～Pは必要ない」という含意が国研(1964)のいう「スレバイイ=消極的」というニュアンスを生じさせるのだろう。⁴⁾

以上、スルトイイ、スレバイイが<当為判断>として用いられた際のニュアンスの違いは、両者の本質的な差異によるものであることをみた。

3.4 <勧め>以外の派生的意味

ところで、<当為判断>から派生される意味は<勧め>だけではない。行為者の人称や文脈によって別の意味が生じることがある。以下に整理してみよう。

3.4.1 <放任>

(32)「今はどうぞ存分にお疑いになるとよい。しかし、いつか、あなたは私の申したことが嘘でなかったとお気づきになるでしょうな」

(王妃マリー・アントワネット)

(33) アントワネット「なにさ! あのカウニツのがりがりじじい! 勝手に好きなだけしゃべってればいいわ」

(ベルサイユのばら)

Pの行為者が聞き手または第三者である場合、行為者を突き放すようなく放任>ともいうべき意味になることがある。「存分に」「勝手に」「好きなだけ」などの語句が伴うことが多い。

こうした意味が生じるのは、話し手はPを必ずしも望ましいとは考えていないが、行為者がPを行なう意向である、あるいは、すでに行なっているといっ

た文脈で用いられたときであろう。話し手は実際は望んでいないPの実現を望ましいかのように述べているわけで、一種の反語的な用法だと考えられる。⁵⁾

3.4.2 <不満>

- (34)「…もしもし、問題があるかな？ 四十五にもなって、俺にはそんな自由もないのかな？ だったら気持ちよく、はいていってくれればいいだろう」 (丘の上の向日葵)
- (35) (母親が黙って出掛けた後の台所で娘と父が)
「どこ行くかちょっと書いておけばいいじゃない」
「ハラへったハラへった」 (同上)
- (36)「まあ、ラジウムの製法について、特許を取っておかれればよろしかったのに」 (森田・松木(1989))
- (37) (ホテルの部屋に邪魔しにきた客が帰った後で)
「蒸しうになんか、フロントに預けてくれればよかったのに・・・」 (広き迷路)

上例のように当該事態Pの行為者が聞き手、または第三者であり、Pが現実には行なわれていない、あるいは、それとは反対の～Pが行なわれているという文脈で用いられると、行為者に対する<不満>を表明する文になる。この用法では、ジャンイカやダロウを伴っていわゆる確認要求の形を取るか、逆接のノニが後接する場合はほとんどである。

(36)(37)のようにタ形をとる場合も、過去においてPが行なわれなかったことに対する<不満>を述べた文として、平行的に扱えるだろう。

これらの例では、スルトイイは用いにくいようである。特に、確認要求の形をとるときは完全に不適になる。

- (34)' *だったら気持ちよくはいていてくれるといいだろう。
(35)' *どこ行くかちょっと書いておくといいじゃない。
(36)' ?ラジウムの製法について、特許を取っておかれるとよろしかったのに。
(37)' ??蒸しうになんか、フロントに預けてくれるとよかったのに

この現象を説明するのは簡単ではないが、おそらくこの理由もスルトイイとス

レバイイの本質の違いに求められるだろう。Pが行なわれないことに対する不満というものは、Pが単に望ましいというだけでなく、何らかの結果を得るために必要だという場合にこそ引き起こされやすいだろう。逆に言えば、Pが行なわれないために求めていた結果が得られないから不満が生じるのである。そのように考えれば、〈不満〉の用法で本質的に結果志向のスレバイイが選ばれるのもうなずけるのではないだろうか。

3.4.3 <後悔>

(38) この鮎だけは飼いたくない。守が飼いたいと言い出した時、事を構えてやめさせればよかった。(鮎)

(39) (行方不明になった女の父親が)
「せめてもう少しまめに電話でもかけてやればよかったんですが」
(女子大生が消えた)

Pの行為者が話し手である場合、夕形で用いられると、過去にPを行なわなかったことに対する〈後悔〉を表す文になる。

この用法でも、スルトイイは不自然である。

(38)'??守が飼いたいと言い出した時、事を構えてやめさせるとよかった。

(39)'?せめてもう少しまめに電話でもかけてやるとよかったんですが。

Pを行なわなかったためにいい結果が得られなかったということが後悔を生じさせる。ここでスルトイイよりスレバイイが適当である理由も、〈不満〉の場合と同様に考えられるであろう。

4 <願望>を表すスルトイイとスレバイイ

次に、当該事態が制御不可能なものとして捉えられている場合、すなわち〈願望〉を表す場合をみていこう。(8)でみたように、国研(1964)は、〈願望〉を表す場合はスルトイイとスレバイイの意味の違いはほとんど感じられないと指摘している。確かに、次の諸例をみる限り、互いに意味を変化させることなく交換できるようである。

(40) 今から会う男たちが私のことを気に入ってくれるといいのだが。
(紫色の場所)

(41)「この薬が効くといいですね」 (ドミトリー)

(42)「私はあまり好きじゃないわ。朝川より、桑名正博とかゴダイゴとか
アリスがくればいいんだけど」 (鬼法楽殺人事件)

(43) アントワネット「革命なんかこなごなにつぶれてしまえばいい!」
(ベルサイユのばら)

<当為判断>を表す場合、明確な対立をみせるスルトイイとスレバイイの違いが、どうしてここでは現れないのか、説明が必要であろう。

しかし、(40)~(43)はいずれも未実現の事態の実現を願う<単純な願望>を表している例であることに注意しなければならない。

とりたて助詞の「さえ」が伴う場合を典型とする、<必要十分の願望>を表すような場合は、スレバイイしか使えない。

(44) だが、いまの秋雄は、とにかく健やかな子でありさえすればいい、という気になっていた。 (素直な戦士たち)

(44)' *とにかく健やかな子でありさえするといい。

(45)「とにかく、あの子が気分よく勉強できさえすればいいの。あとは目をつぶりましょう」 (同上)

(45)' *とにかく、あの子が気分よく勉強できさえするといいの。

(46) 給料なんか安くてもいい。好きな仕事ができればいい。

(46)' ??給料なんか安くてもいい。好きな仕事ができるといい。

スレバイイの本質はここにも表れているといえよう。得たい結果を得る、すなわち満足するための要件として排他的にPを提出するという働きが「必要十分」という含みを生じさせるのである。

スルトイイとスレバイイの本質は、<当為判断>のみならず用法全般に力を及ぼしている。むしろ、(40)~(43)のような<単純な願望>を表すものを、両者の違いが限りなく薄まる場合として注目すべきなのかもしれない。

5 スレバイイとシタライイの異同

最後にスレバイイとシタライイの異同について簡単にみておきたい。(8)の国研(1964)の指摘にあるように、両者はかなりの部分において重なり合っている。

これまでにみたスレバイイの用例はほとんど問題なくシタライイに置き換えられるし、実例もある。

<当為判断>

(47)「ことしは志津がいないから、遊び相手が欲しいだろう。修吉くんや、
彼のお姉さんと遊んだらいい」<勧め> (避暑地の猫)

(48) 良明「じゃあ、俺取りあえず何したらいい」(疑問語疑問文)
(宇宙の法則)

(49) (幽霊が恨みのある人間に)
「生きたらいい」…「下らない生命を大事にしたらいい」<放任>
(異人たちの夏)

(50)「あんた、そんなに心配なら、自分で調べてみたらいいじゃないですか」<不満> (広き迷路)

(51)「そこで帰ってしまったらよかったのに、残りの四レースの前売りを
買って、レースを観てたんですね。…」<後悔> (夢見通りの人々)

<願望>

(52)「…こちらも、こんな美人と友達になれたらいいと思ったので、あと
でお茶を飲まないかなどと誘っていたわけです」<単純な願望>
(時代祭に人が死ぬ)

(53) さとみ「もうみんな、星みたいに変わらない距離でいれたらいいの
に」<反事実的な願望> (東京ラブストーリー)

このことからシタライイの本質はスレバイイと同様のものと考えていいと思
われる。しかし、より厳密に言えば、微妙な差異が感じられる場合があること
も否めない。

(54) 太りたくなかったら、{食わなければいい/食わなかつたらいい}。
スレバイイを用いた場合の方が、「食わない」ことが「太らない」ための必要
十分な手立てであって、他は必要ないというような意味が、より強く出る。次
の様な「さえ」を伴う<当為判断>や<願望>にシタライイがややなじまない
のも同様の現象であろう。

(55) そうよ。一生懸命 {やりさえすればいい/?やりさえしたらいい} の
よ。

(56) とにかく、あの子が気分よく (勉強できさえすればいい / ? 勉強でき
さえしたらいい) の。

これは言い換えれば、スレバイイの方がPを取り出すことにより~Pを排除する働きが強いということであり、バがタラと異なる点として従来指摘されている「PでなければQでない」という裏の意味を含意しやすいという性格からくるものだろう。

とはいうものの、三形式を比べるということからいえば、スレバイイとシタライイの違いはごく僅かなものである。むしろ、これら二形式とスルトイイと間の異なりこそ問題にすべきであろう。⁷⁾

6 まとめ

以上、スルトイイ、スレバイイ、シタライイの三形式の意味・用法を観察してきた。要点のみをまとめておく。

(1) スルトイイ、スレバイイ、シタライイの意味は、当該事態の制御可能性によって大きく<当為判断>と<願望>に分けられる。

<当為判断>からは条件によって<勧め><放任><不満><後悔>といった意味が派生する。

(2) 三形式の本質は次の様なものである。

スルトイイ

→当該事態を望ましいものとして肯定評価する。

スレバイイ・シタライイ

→特定のよい結果を得るための手立てとして、当該事態が必要十分であることを述べる。

(3) 上の本質の違いから、スルトイイとスレバイイ・シタライイの二形式の間には、<勧め>の場合のニュアンスの違い、<不満>や<後悔>にはスルトイイは不適であるなどの差異が生じる。<単純な願望>の場合は、両者の違いがほぼ中和される。

注

1) 事態の制御可能性と述語の動詞の意志性とは区別する。述語が意志動詞であっても、

行為者が三人称であるため、制御不可能な事態になる次のような文は、願望の意味になる。

(a)「王妃さま、当日はフェルゼン伯も見にいらっしゃるとよろしいですね」
(ベルサイユのばら)

- 2) 益岡・田窪(1992)は、(b)を「相手が動作主となる動作の当否を述べて相手の動作を促す場合」(c)を「一般的な自体の当否を述べて相手に推論をさせて動作を促す場合」として、区別している。

(b) 君は彼女と別れるべきだ。(したがって、別れなさい)

(c) 男はじっと耐えるべきだ。(君は男だ。したがって、耐えなさい)

- 3) 「ただ」「だけ」「さえ」を伴う場合などは、そうした含意が顕在化する。とくに「さえ」を伴う場合は一般にスルトイは不可能である。

(d) 「いや、旅行というものはただ動けばいいんだと思って」 (父が消えた)

(e) すると加害者は慰謝料だけ払えばいいのだから、初音の場合よりだいぶん楽だろう…。(路上の奇禍)

(f) 「そうしたら、圭ちゃんみたいになれるのかしら」

「そうよ。一生懸命やりさえすればいいのよ」 (満ちたりぬ月)

- 4) 文脈によっては、この含意が別の効果を生むこともある。次の例では、～Pを排除する意味合いがさらに進み、むしろ相手の他の行為を阻止する発語になっていると思われる。

(g) リカ「怒っている感じで、軽く)もう、カンチはわたしのこと考えて
ればいいの！」 (東京ラブストーリー)

(h) ババア「ごちゃごちゃ言わずに、アタシにまかせておけばいいんだよ」
(バタアシ金魚)

- 5) この用法は、仁田(1991)の<反語命令> (「勝手にしろ!」「騒ぎたければ好きなように騒げ!」など)と平行的な関係にあると思われる。

- 6) また、現実と反する事態の実現を望む<反事実的な願望>の場合も、スルトイは用いられにくいようである。

(i) 「健次って、ほんとに頭がいいのかしら」「IQは、英一郎より高かったな」
…「健次が先に生まれていれば、よかったかしらね」

(素直な戦士たち)

(i) ??健次が先に生まれているとよかったかしらね。

- 7) 白川(近刊)は、言いさしの形で勧めや願望を表すタラとバの微妙なニュアンスの差異を両形式の本質から説明している。因みに、トには言いさしによるこのような用法が存在しない。

参考文献

- 国立国語研究所(1964)「現代雑誌九十種の用語用字 第3分冊」国立国語研究所
白川博之(近刊)「タラ形・バ形で言いさす文」『広島大学日本語教育学科紀要』
第5号
鈴木義和(1993)「条件表現各論－バ／ト／タラ／ナラー」『日本語学』13-8

- 高橋太郎・松本泰丈・鈴木泰・金田章宏(1994)『日本語の文法1993』
筑波大学日本語教育研究会(1983)『日本語表現文型 中級Ⅰ』
仁田義雄(1991)『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房
進沼昭子(1987)「条件文における日常的推論-「テハ」と「バ」の選択要因をめぐって」国語学150
前田直子(1991)「条件文分類の一考察」東京外語大『日本語学科年報』13
益岡隆志編(1993)『日本語の条件表現』くろしお出版
益岡隆志・田窪行則(1992)『基礎日本語文法-改訂版-』くろしお出版
森田良行・松木正恵(1989)『日本語表現文型-用例中心・複合辞の意味と用法』アルク

(たかなし しの 文学部助手)